

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	お城を中心としたまちづくり事業			事業コード	2407
担当課等	所属名	都市整備部 公園みどり課	担当係名		
	課長名	都市整備部 公園みどり課	担当者名	齊藤 和貴	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード 7	施策	うるおいのある公園・街路樹の確保	コード 4
	基本事業	スペースの確保	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 8款 4項 7目 都市公園整備事業(002-02)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input type="radio"/> 単年度繰返 <input checked="" type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (20年度 ~ 25年度)					
事務事業の概要	<p>本事業は盛岡市中心市街地活性化基本計画の中において、重要な位置付けにある事業であり、その基盤となる「お城を中心としたまちづくり計画」は、史跡の保存整備と都市公園整備との調和のもと、都市と美しい自然の調和、並びにお城の風格や城下町の情緒など地区の特性を活かした総合的なまちづくりを目的としている。</p> <p>その計画のひとつとして、歴史文化施設と連携した公園整備等を短期的に取り組むことにより、盛岡城跡公園を中心とした賑わい創出と都心の魅力を高めたまちづくりを図るものである。</p> <p>お城を中心としたまちづくり事業に関しては、中・長期的に取り組むこととなるが、短期的な(概ね5年程度)取り組みについては、中心市街地活性化基本計画と関連が深いことから、連携した取組みが必要である。</p>					
根拠法令等	文化財保護法, 都市公園法, 盛岡市都市公園条例, 盛岡市中心市街地活性化基本計画, お城を中心としたまちづくり計画					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
盛岡城跡公園を中心とした将来のまちづくりビジョンの検討において、史跡との共存を前提とした魅力ある公園整備を目指し、歴史文化施設や桜山神社周辺の整備の方向性を見出す必要性があったことと併せて、盛岡市中心市街地活性化基本計画が認定されたことによる。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
岩手公園愛称検討懇話会や市議会などから「単なる愛称の決定ではなく、公園や周辺地域の資源を活かし、市街地の賑わいを生み出す魅力のある公園として、公園を中心としたまちづくりを進めることが大切」との意見がある。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか変化したか。今後の見通しはどうか						
盛岡城跡公園並びにその周辺地区について、整備計画や賑わい創出のための個別具体的な実施計画の策定が必要である。また、史跡盛岡城跡については、文化財保護法に基づく史跡保存管理計画を策定することが必要であり、平成21年から継続して進められている。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	市民、観光客	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 人口 B. 観光客入込数 C.	単位 人 単位 万人 単位
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ・もりおか歴史文化館前庭整備 ・ピクトリアロード整備 23年度計画(23年度に計画している主な活動) ・もりおか歴史文化館前庭整備 ・案内標示板整備	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 工事費 B. C.	単位 千円 単位 単位
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	盛岡城跡公園とその周辺地区の活用と賑わいの創出	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 中心市街地における歩行者通行量 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】 B. 市街地への観光客入込数 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】 C. 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位 人 単位 万人 単位
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	交流空間が確保されている	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	1人当たりの公園等面積(単位:㎡/人) 公園数(単位:箇所)	

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	人口	人	297592	297267	297267	298148	297267	297267	26年度 297267
対象 指標B	観光客入込数	万人	472	459	466	444	472	478	26年度 490
対象 指標C									年度
活動 指標A	工事費	千円	4769	43600	26000	24310	14400	0	25年度 88310
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	中心市街地における歩行者通行量	人	54593	48819	50158	47926	50500	50666	26年度 51000
成果 指標B	市街地への観光客入込数	万人	370	363	357	363	374	375	26年度 377
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	****
事業費	A	千円	4,769	43,600	26,000	24,310	14,400	0	****
財源 内訳	④国	千円		31,600	0	0	1,300	0	****
	⑤県	千円	4,769					0	****
	⑥地方債	千円		9,000	19,400	19,400	9,700	0	****
	⑦一般財源	千円	0	3,000	6,600	4,910	3,400	0	****
	⑧その他	千円							****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	4,769	43,600	26,000	24,310	14,400	0	****
延べ業務時間数		時間	1,000	4,000	4,000	4,000	4,000	0	****
職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)		千円	4,000	16,000	16,000	16,000	16,000	0	****
トータルコスト(A)+(B)		千円	8,769	59,600	42,000	40,310	30,400	0	****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 盛岡城跡公園は盛岡市のシンボリック的存在であり、未開設区域の整備が進むことは上位基本事業の成果に直結する。
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 本事業を推進することにより、盛岡城跡公園やその周辺地区の活用と賑わいの創出が図られ、中心市街地の活性化にも繋がる。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他
有効性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 歴史文化施設整備事業、盛岡地区かわまちづくり等、他の事業や計画と連携を図ることで相乗的な効果が得られることから向上の余地があると考えます。
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 本事業は中心市街地活性化基本計画の中において、重要な位置付けにある事業であり、盛岡城跡公園を活かすまちづくりを行うことは、中心市街地の活性化等と連携して取組むことにより、計画の推進のための有効的な事業であることから、廃止・休止はまちづくりに大きな影響がある。
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 本事業の短期事業の一部を事業化したものであり、今後、さらに他の短期事業の事業化を図る必要があるため削減は難しい。
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 既に、グループ内の協力体制により人件費の抑制を図っているほか、他部署より委託工事等により業務量が増加しているため、削減の余地はない。
公平性評価	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 本事業を短期的に取り組むことにより、盛岡城跡公園を中心とした賑わい創出と都心の魅力を高めたまちづくりを図るものであり、市民、観光客等に公平な受益機会が与えられると考える。
	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 中心市街地の活性化は当市の喫緊の課題であり、事業化による市のメリットは大きく、公平な負担と考えられる。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること お城を中心としたまちづくり計画の短期計画事業を推進し、中長期計画事業へつなげていく。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) お城を中心としたまちづくり計画を推進していくためには、関係課が多岐にわたり、横断的な連携を図る必要がある。そのためには、総括的に事業を推進していけるセクションの設置が望ましい。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 : ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p> <p>② 有効性 : ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p> <p>③ 効率性 : ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p> <p>④ 公平性 : ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>中心市街地活性化に資する事業として、また、平成23年7月開館予定の「もりおか歴史文化館」と連携する事業として、今後も継続していく必要がある。</p>							
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3"> <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>歴史文化施設前庭整備やビクトリアロード整備事業などは整備の進捗が図られたが、史跡保存管理計画策定に係る桜山神社参道地区のまちづくりについては地元との協議に至らなかった。桜山神社参道地区のまちづくりについては、都市公園法や文化財保護法により私権が制限されており、安全・安心のまちづくりの観点から、進捗を図る必要がある。</p>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携							
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止								